

低線量 CT 肺がん検診に関する説明書

① 低線量 CT 肺がん検診の目的

肺がんを早期に発見することです。早期に発見できれば、適切な治療を行うことで、死亡率を下げることが可能となります。

従来の胸部 X 線写真による検診と比較して、早期の肺がんを発見できることが国内外の研究で報告されております。

② 検診の内容

CT の寝台へ仰向けで寝た姿勢の状態です。2 回ほど息を止めていただきます。得られた画像をもとに放射線診断専門医より結果を作成し、通知いたします。

③ 検診の限界

異常なしとの結果の場合でも、「今後肺がんにならない」ということではありません。進行の早い肺がんは、次の検診までの期間で発生することがあります。

極めて小さな陰影や薄い陰影は、通常線量の CT に比較して発見しにくいことがあります。しかし、その様な小さな陰影の中にも極めて稀ですが増大してくるものがあることは否定できません。

④ 検診により起こりうる不利益

(1)異常が発見されたとしても、結果的に肺がんではないことがあります。喫煙習慣のある人・喫煙習慣のあった人を対象として低線量 CT による検診を行うと、3~6 割の人に、何らかの“異常な影”がみつかることが報告されています。“異常な影”の 9 割以上は肺がんではありませんが、中にはまぎらわしいものがあります。

(2)微量ながら放射線被ばくがあります。その線量は通常のCT検査の約 1/10、約 1mSv(ミリシーベルト・被ばくの単位)であり、日本人1人が1年間に自然放射線を受けている量(平均2.1mSv)の 1/2 程度です。このような低線量 CT 検診を受けたことにより、新たにがんが発生したという報告はありません。

⑤ 肺がん以外の病気があっても発見されない可能性

低線量 CT 検診では、肺がん以外の病気を発見することを目的とした検査ではありません。例えば、乳房に腫瘍があっても、発見できません。

⑥ 検診の精度管理のための追跡調査と結果の公表

集計結果などを公表(県や国への報告、学会発表、論文発表)する場合があります。ご了承ください。受診者の個人情報が漏えいしないよう、守秘義務を最大限遵守いたします。追跡調査はお断りになることも途中で中止することもできますが、そのことにより、受診者に不利益となることはございません。

⑦ 低線量 CT 肺がん検診の対象者について

50 才以上の喫煙者の方は検診をおすすめします。

⑧ 低線量 CT 肺がん検診にかかる費用について

この検診にかかる費用は 9,900 円となります。

早島町在住で 40 才以上の方は、上限額を 3,000 円とし受診費用の一部補助を受けることができる場合がございます。詳細につきましては、申込時にご確認ください。